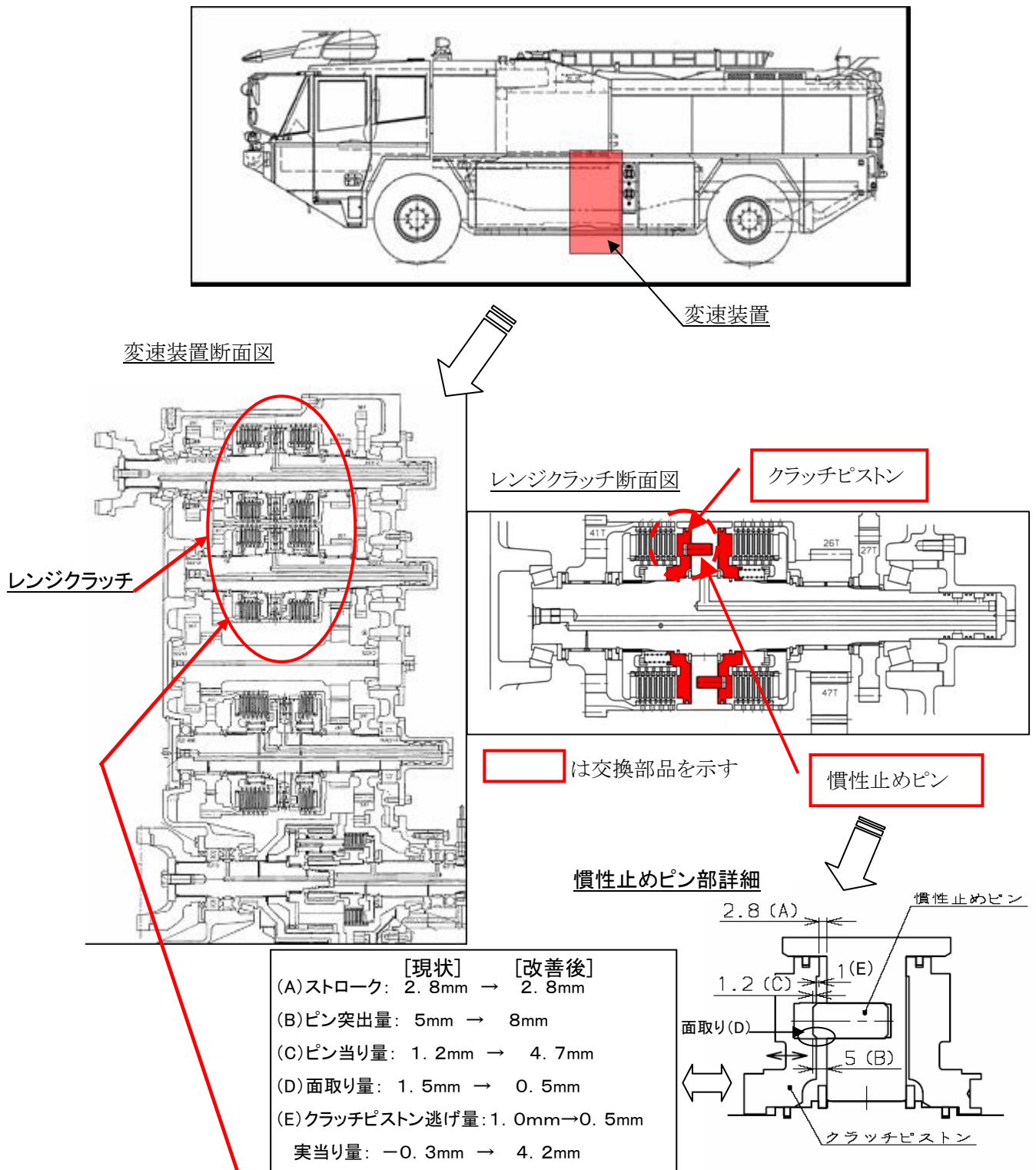


① 改善箇所説明図 (HV3000-1の例)



基準不具合発生箇所

変速装置において、クラッチピストンの回転を止めるピン(慣性止めピン)の突出量が小さいものがあるため、当該ピストンと当該ピンの面取り部が接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ピン穴が摩耗しピストンがピンから外れ、クラッチが切れなくなり、最悪の場合、クラッチが焼きつき、走行不能に至るおそれがある。

改善措置の内容: 全車両、慣性止めピン及びクラッチピストンを対策品に交換する。

識別: 変速装置の銘板の右隅に「A」と刻印して識別する。